



10月6日  
土曜日

発行所  
山陰中央新報社  
〒690-8668  
松江市殿町383  
電話 総合案内  
0852(32)3440

# の「エリーゼ」 超高压加工玄米PR 大「エ」 松江にアンテナショップ

島根県飯南町内に工場を建設している、玄米の加工販売のエリーゼ(本社・大阪市、田丸二郎社長)が、松江市朝日町に同社初のアンテナショップをオープンした。来年1月に予定する工場の稼働に向け、高圧力で食べやすくした玄米をPRし、販路拡大を図る。

エリーゼは、水とともに容器に入れた玄米に6千気圧を加え、軟らかくした「超高压加工玄米」を販売。従来は和歌山県内の穀物加工業者に製造を委託してきたが、独自の生産拠点を飯南町内に整備することにした。

一方、開設したアンテナショップは、鉄骨2階建ての1階部分(店舗面積33平方メートル)



スタッフから超高压加工玄米の説明を受ける来店客(左)＝松江市朝日町、エリーゼ松江ショップ

を賃借。超高压加工の玄米「美ヲ」(1キロ入り3150円)、同玄米を使ったパスタ、パン用の粉(500グラム)

入り500円)や各種パンを取りそろえ、飯南町産の野菜や果物も販売する。

店内には商談スペースも設け、県内の食品メーカーなどを招いて玄米や加工商品の実物を見てもらいながら、営業活動を行う。

田丸社長は「6千気圧の技術や事業内容を世の中に広め、知っていただく発信拠点として」と説明。島根県や飯南町と連携し、工場周辺にパンやパスタの加工工場などの企業誘致を進め、中山間地域の活性化につなげる考えも示した。